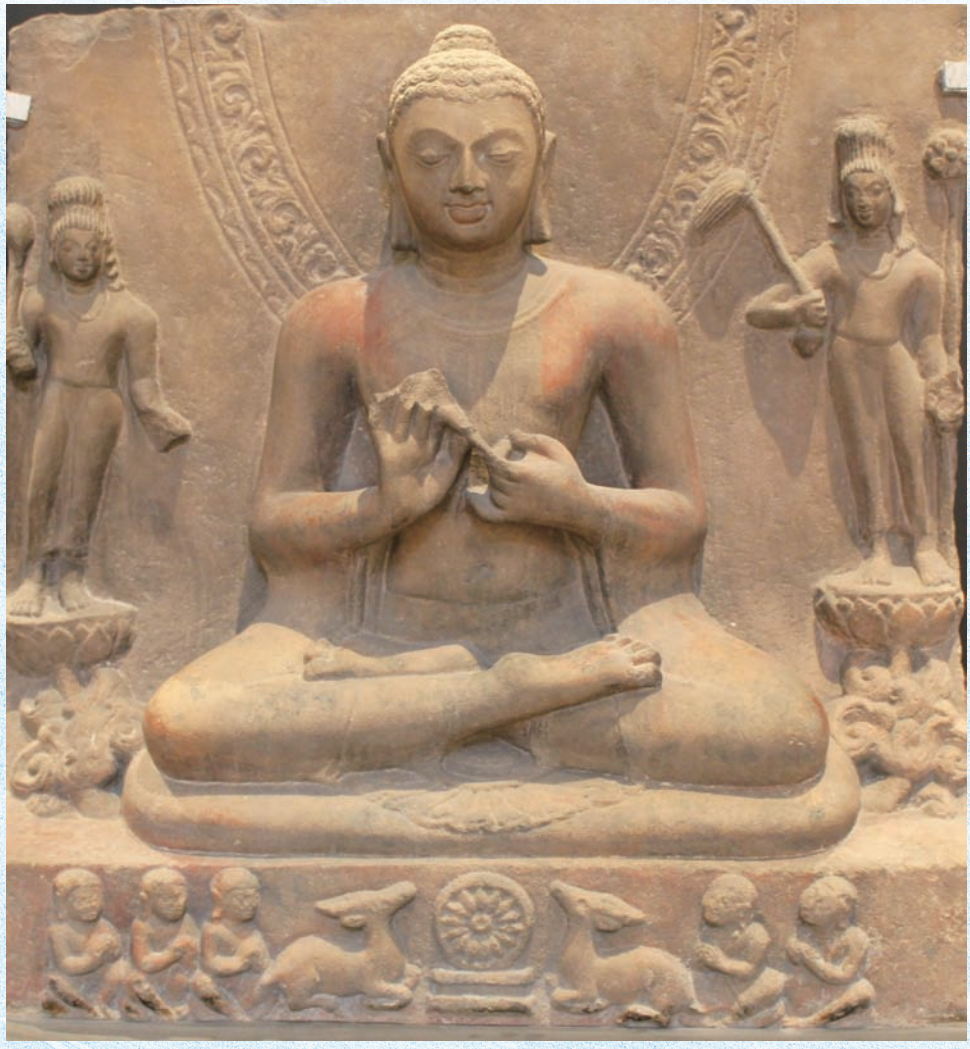
－御笠組報－

みかさ

2015年7月
第53号
浄土真宗本願寺派
福岡教区御笠組



初転法輪

（インド・サールナート）５世紀　インド博物館（筆者撮影）

悟りの内容を伝えることを決意された釈尊は、悟りの地ブッダガヤを発ち聖地ベナレスへ向かわれました。その郊外にあるサールナートの鹿野苑（ろくやおん）において、かつての修行仲間五人と再会します。すでに苦行を放棄した釈尊を無視しようとしていたこの五人は、釈尊の教えを聞くうちに理解し受け容れ、最初の弟子となりました。釈尊が初めて説法を行われたことを「初転法輪（しょてんぼうりん）」といいます。仏の教え（法）を車輪にたとえ、その法輪を転がすとは、説法をするという意味です。初めて説法が行なわれたということです。

「初転法輪」によって、初めて悟りの内容が他者に伝えられました。それとともに重要なことは、「三宝」が成立したことです。三つの宝とは、「仏（ブッダ）」「法（ダンマ）」「僧（サンガ）」つまり仏教における最も大切なものです。「仏」とは釈尊、「法」はその教えです。「僧」とは教えの下に集いブッダの教えを実践する人々の組織を意味します。最初のサンガは、釈尊と五人の仏弟子の六人で始まりました。この三宝に帰依することが仏弟子としての証となります。本願寺での帰敬式においても三帰依文を唱えています。

浮彫の中央に坐す釈尊の手は「説法印（転法輪印）」をとり、台座には法輪、鹿野苑を表す二頭の鹿、五人の弟子が表されています。

題字：小山実千代（伯東寺坊守）解説：中川正法（西蓮寺住職）

■発行／浄土真宗本願寺派・福岡教区御笠組・「御同朋の社会をめざす運動」委員会
■編集／渉外広報部　筑紫野市吉木1581　安紹寺　TEL.092-922-6281　■印刷／㈱四ヶ所　朝倉市馬田336　TEL.0946-22-2369

第25代專如ご門主伝灯奉告法要

『伝灯奉告法要』とは、親鸞聖人のみ教え（法灯）をご門徒に伝え（伝灯）共に喜び、それを末代まで、受け継いでいくことを聖人にお伝えする（奉告）法要のことであります。

団体参拝期間

2016（平成28）年10月1日（土）から
2017（平成29）年5月31日（水）まで
の間に10期が催されることが報告されました。

※御笠組も2回団体参拝があります。詳しい日程が決まりましたら各寺より募集があります。皆さんご一緒に参拝しましょう。

二〇一五（平成二十七）年 御笠組巡番報恩講のご案内

◆日時
十月二十四日（土）　昼座　十三時半
　　夜座　十九時
二十五日（日）　午前中　稚児行列
　　昼座　十三時半

◆ご講師
川本 義昭 師
（島根県益田市・西楽寺住職）

◆会所
梅木山　光蓮寺
（太宰府市宰府一-一〇-二三）
TEL 092-922-4116

草苑〔SOUEN〕
美しが丘　TEL 092-919-0880　FAX 092-919-0881
草　苑　筑紫野市美しが丘北３丁目12-4

合掌礼拝の生活
ルンビニープラザ
お仏壇のコガ
太宰府店　〔駐車場完備〕
太宰府市都府楼南1丁目1-32　☎(092)923-8080



御笠組渉外広報部よりのお願いです

皆様には毎号、組報「みかさ」をお読み頂きまことにありがとうございます。

毎号「みかさ」の中でコーナーとしてありました「なるほど」の内容でございますが、渉外広報部の方よりテーマを選び、各寺ご住職にご依頼をして答えて頂いておりましたが、部内協議の結果、読者であります各寺ご門徒の本当に知りたいことを聴き、多かった質問に対し答えて行く事こそ共に歩む浄土真宗、また組報のあり方ではないかと言う結論に至りました。つきましては皆様のご意見をお寄せいただきたいと存じます。

例文

- 何で七日参りをするんですか？
- 四十九日はどういう意味なんですか？
- 仏教は私にどのように役立ちますか？
- 浄土真宗は何でお西やお東などに分派したのですか？
- お坊さんなのに髪は剃らなくていいの？

等々どんな質問でもかまいません。

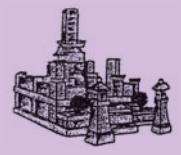
これからも皆様のご意見を取り入れてより良い組報発刊につとめていきたいと考えています。

お問い合わせ先

真光寺メールアドレス **au.net@nifty.com**　件名「みかさ組報」で

渉外広報部部長　安紹寺　田代寿子　092-922-6281
事務局　真光寺　戸田　真　092-922-3291

漆　歴史と伝統の技で創る…仏壇・寺院用品
㈱仏掌堂
〒815-0075 福岡市南区長丘１丁目9-1　TEL(092)561-7070㈹
FAX(092)561-8463
〔工場・夢工房〕福岡県八女市室岡1299　TEL(0943)24-2110


御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事
設　計・施　工
石のことなら気軽に御相談下さい。
㈲矢ヶ部石材
代表取締役　矢ヶ部　清隆
筑紫野市大字本道寺106-4　☎924-5574
(FAX)924-8212

御笠組門徒推進員・門徒代表者 合同バス研修

御笠組門徒推進員連絡協議会会長
教円寺　大田　和博（釋円修）

二〇一五（平成二十七）年六月二十四日に門徒推進員と門徒代表者二十八名で山口県萩市の本願寺教団西日本屈指の由緒寺院である「端坊（はしのぼう）」の参詣と萩の旧跡散策バス研修を開催いたしました。

当日は早朝二日市を出発し、道の駅「萩しーまーと」を経由し午後から、浄土真宗本願寺派「松林山端坊」にお参りしました。「端坊」は大野城の慶伝寺住職のお郷だそうです。

到着後、『讃仏偈』のお勤めをし、その後に前住職様より「端坊」寺史についてご説明がありました。

「端坊」は、親鸞聖人八十四歳のとき門弟になった明源に始まり、その後代々本願寺「興正寺」の貴役として諸国に浄土真宗の教えを広めていったそうです。その法脈譜は、六九六ヶ寺を超える西国屈指の由緒寺院だそうです。説明後、宝物や萩指定文化財「端坊鐘楼堂」等を拝観させていただきました。

今、人気ドラマ「花燃ゆ」の萩の城下町を散策し帰途に着きました。

次回は、もっと有意義な研修会を行ないますので、多くの門徒推進員、門徒代表者の皆さまの参加を念じております。



毛利氏の居城、萩城内より移植の大ソテツ

お寺ごはん　西福寺お斎



お斎は法要や法事の時に頂く食事のことです。

「食事」をいただく時に、私たちは何を思い、どのような思いをいだいているのでしょうか。

「食」　それは「多くのいのち」をいただいています。

「食」　そこには「みなさまのおかげ」がありました。

「食」　仏さまの「ご恩」を深く喜ぶことができます。

「食」　「慚愧」と「歓喜」の心でもって「仏恩報謝」につとめてまいりましょう。

食事の際に一人ひとりが「ご恩」を味わえるように「食事のことば」を自ら声にだしていただきましょう。

西福寺の法要・定例法座では仏教婦人会の皆様が野菜などを持ち寄りお斎の作っていただいています。いつも有難うございます。

お仏壇のよーかどう
お仏壇・仏具のご相談はお電話を！
筑紫野市二日市中央通商店街
☎092-924-1111

はせがわ
つなぎます。心と、いのちと、人。
霊園・墓所・墓石のご相談も承ります。
太宰府インター店　太宰府インターグッディそば　☎092-503-0800

松林山端坊（はしのぼう）参詣

西正寺　堀川忠宏（釋入真）



この度、端坊の歴史とたたずまいに触れ、感慨深いものがありました。

維新の志士達を輩出した地区に、そのお寺はありました。山門を入ると、重厚な本堂があり、左手に鐘楼堂がありました。本堂内は広くお内陣（ナイジン）と外陣（ゲジン）が、結界でへだてられ格式の高さを感じました。ご開基は親鸞聖人の随従の門弟でいらっしゃったとのことで、また、教線を西国に伸ばすための拠点とした由緒あるお寺であったとのことでした。このことは、九州に住んでいる私たちが、真宗門徒であることの原点かもしれません。

なお、ご宝物に、蓮如上人ご真筆（シンピツ）の「南無不可思議光如来」の九字（クジ）名号掛け軸がありました。身が引き締まり、その場を去りがたいものがありました。







～大切な人を送る時、私たちができること～
ご葬儀を真心込めてお手伝いします
CHIKUSHI
有限会社 筑紫葬祭
葬祭式場 セレモニー筑紫
TEL　092-925-4444㈹
セレモニー筑紫／筑紫野市塔原東4丁目3-5　TEL 092-924-5177

積善社 筑紫斎場
太宰府市吉松4丁目6-1（青葉台入口信号角）
☎0120-14-0789（フリーダイヤル）

本願力に あひぬれば……7

生かされて縁を生きる

教円寺　中溝 正信（釋淨諦）

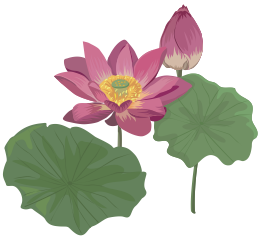
難しいことは良く分かりませんが、阿弥陀如来の不思議なお働きによって人間界に独り生れ多くの命を頂き、また、多くの方とのご縁のなかに支えられ、早かれ・遅かれ何時かは、人間界を独り去っていかなければならない。

水の流れを例にあげると、水もまた、川の流れにそって色々なものと出会いと別れを繰り返して無数のものと出会いながら海に流れ入り海水となるように、私も自分の人生のなかで様々な出会いと別れを繰り返し人間界の命を終えて往かなければ成らない。人間界の一生は朝露のごとしと云われますが本当に短いものです。

人間として生まれ、どのような日暮しをして行けば良いのであろうか。私は仏に成る教えを聞くためにこの世に生れ、み教えをご聴聞させて頂き（仏縁に遇う）尊い教えを聞かずに帰ることは出来ない。

御同行さんや、善知識様（み教えを伝える方）に導かれて、南無阿弥陀仏と云うご本願の中に、いま生かされて生きている事を当たり前のように思っていた愚かな私です。

それでも、阿弥陀如来は私の事を心配し、何時でも何処でも、寝ても覚めても行住坐臥にお念仏を申す身にお育てをして下さいます。阿弥陀如来の御手の中に生かされて、入る息出る息の中にお念仏申し、子や孫にもお念仏を伝え、お蔭様とお礼を申し上げて行くのみです。　南無阿弥陀仏



編集後記

『みかさ組報』では質疑応答のコーナーを設ける事と致しました。よっていままで以上にご法話・勤行・荘厳・作法等についてお問い合わせください。組報にて丁寧にお答え致します。

『総局巡回』の基本方針の一つは「自分自身だけがこのご法義をよろこぶのではなく、あらゆる人が阿弥陀如来から願われてあるからこそ、そのご法義を伝え共に生活しようとするお念仏の新たなご縁づくりをめざして下さい。」と掲げています。

法律相談
初回相談無料
毎週月曜日～金曜日
午前八時半～午後六時
※弁護士が相談に応じます
相談専用電話
（〇九二）七一六一一〇三四
◎プライバシーは必ず守られます。
問い合わせ　福岡教区教務所
（〇九二）七七一一九〇八一

ビハーラ・ライン・福岡
こころの電話
ひとりで悩まないで話してみませんか…
相談電話 092)711-1432
毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く
午後1:00～午後4:30
プライバシーは守ります
（相談内容）
浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会福岡支部

大規模葬から家族葬まで…
もしもの時に安心な…互助会会員募集中
㈱のがみ 善光会館 筑紫会場
筑紫野市杉塚６丁目11-1　Tel 921-4242㈹

JA筑紫
誠心誠意を大切にします。もしものとき…
24時間承っております
筑紫農業協同組合（JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館）
〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南2-1-3
TEL(092)924-3027／FAX(092)928-1394
組合員・NEWにじの会 会員募集!!